

# 被害状況等の把握及び共有のための対策【総務省】

## 施策概要

発災時の被害状況や避難情報の発令状況等を迅速に把握し、地方公共団体等と効率的に共有するためのシステムを整備

## 効果

被害状況等の自動収集・自動集計により、迅速な災害応急対策を実現



総務省消防庁



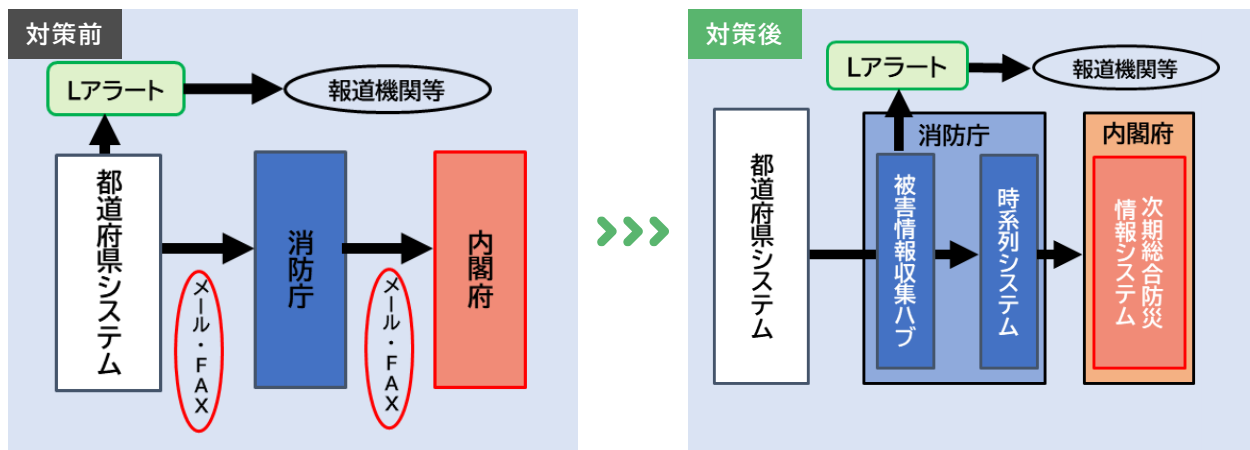
—



消防庁被害情報収集・共有システムの整備

## 全国的な対策と効果

従前はFAXやメール等を用いて共有していた人的被害(死者、行方不明者、負傷者)や住家被害(全壊、半壊、床上浸水、床下浸水、一部破損)の情報等を自動収集・自動集計できるようになったことにより、迅速かつ的確な災害対応に寄与



被害状況等の収集・共有の流れイメージ図

システム入力により、人的被害・住家被害の情報を自動集計し、消防庁HPなどで公表

(1) 人的・住家被害

都道府県	人的被害								住家被害				
	死者	うち 災害関連死者	行方 不明者	負傷者			合計	全壊 棟	半壊 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟	一部 破損 棟	合計 棟
				重傷	軽傷	小計							
北海道				1	17	18							
三重県	1					1							
宮崎県					1	1							
合計	1			1	18	19							



(例) カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波による被害及び消防機関等の対応状況(第12報)

## 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
1億円	7億円	-
R6	R7	累計
-	-	8億円

## 目標達成の見通し

